



新年ごあいさつ

加古川市長
岡田 康裕

新年、あけましておめでとうございます。

令和3年の新春を、ご健勝にお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、加古川市政、とりわけ商工業の振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの第3波により、一時戻りつつあった東播磨地域の社会経済活動にも大きな影響が出ており、医療体制のひっ迫など、予断を許さない状況が続いています。

本市では、国や兵庫県の施策に加え、事業者の支援や個人消費の喚起のために、小売業・飲食店等への助成や、キャッシュレス決済PayPayと連携したポイント還元などの経済対策を実施してまいりました。また、オンラインによるインターンシップ合同説明会や、市内事業所に勤務する方への奨学金返還支援補助金制度の拡充など、中小企業の人材不足解消に向けた取り組みを進めております。引き続き、皆様からのお声をもとに、適切な対策を講じてまいりたいと考えております。

また、昨年5月には、加古川商工会議所から、工場立地法に定める緑地面積率等の緩和に関する要望書をいただきました。法律で義務付けられた敷地面積の緑地化が企業の設備更新や事業展開の妨げになっていることから、現在、市において要件の緩和に向けた条例の制定を検討しているところです。

本市は、昨年6月に市制70周年を迎えました。予定していた記念式典や関連イベントの多くが中止せざるを得ませんでした。一方で、新たな施策を生み出す過程で、市民の幸福感、生活満足度の向上を実現するためには何が必要なかを今一度振り返り、市民サービスの本質を考え直す良い機会となりました。「一人ひとりがより幸せを実感できるまちづくり」をコンセプトに、市民や地域の皆様とともに、一歩ずつ新たな歩みを進めてまいりたいと決意を新たにしております。

本年も、加古川商工会議所をはじめ関係機関と連携し、商工業の振興と安定雇用の確保に向け、全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健勝と、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。